



公益社団法人への移行と創立 70 周年の年頭にあたり

公益社団法人 有機合成化学協会 会長
東レ株式会社 医薬研究所 所長
伊関 克彦

平成 24 年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年日本は、東日本大震災という未曾有の大災害を経験いたしました。被災された方々にはあらためてお見舞い申し上げますとともに、本年は本格的な復興が始まる年となることを祈念いたします。

さて、本会は本年 1 月 4 日に公益法人としての登記を行い、新たな公益社団法人有機合成化学協会として出発致しました。平成 20 年に公益法人関連の法律が施行され、これまで民法で規定されていた公益法人は、一般社団法人や公益社団法人への移行選択が問われていました。本会はいち早く公益社団法人への移行方針を定め、また定款変更案検討のため公益法人化推進委員会を設け準備を進めてきました。昨年、総会でご承認いただいた定款変更案を基に内閣府に申請を行い、この程、公益社団法人への移行認定を受けることができました。3 年間に渡り準備を進めていただきました本会の役員や公益法人化推進委員会委員の方々および事務局に感謝申し上げます。公益法人になることで社会的信用が増し税制優遇などの特典を得る一方で、その資格については今後も厳正な評価を受けます。「公益」は明確な定義が難しい概念ですが、特定の個人や団体の利益でなく不特定多数の利益と言われております。また、従来の「官」による公益ではなく「民」による公益活動の促進も今回の法律改正の大きな目的です。これまでも本会は学術・技術の振興を目的として学界と産業界が協力して公益性の高い活動を行ってきましたので、今後その活動内容が大きく変わることはありませんが、以前にも増して公益法人であることを意識し、科学技術の振興と、化学を担う人材育成を通じ、幅広く社会に貢献する活動が必要となります。どうかご協力をよろしくお願い申し上げます。

また、本年は有機合成化学協会にとって創立 70 周年の年でもあります。本会東海支部のご協力を得て 9 月 6 日、7 日に静岡で記念式典、記念シンポジウムを予定しております。1942 年に創立された本会が、戦後復興期や高度成長期を経て科学技術の進展や経済発展に貢献しながら歩み、公益社団法人となった本年、創立 70 周年を迎えることに大きな感慨を覚えます。本会で活躍する学界の研究者がこのところ毎年のように紫綬褒章、学士院賞等、また海外の名誉ある賞を受賞されています。一昨年は鈴木章、根岸英一の両氏のノーベル化学賞受賞の報を聞きました。また、昨年は 1952 年より続いている有機合成化学シンポジウムが第 100 回を迎え、今でもご活躍されております辻二郎、森謙治、吉田善一の 3 氏を講師として記念講演会を行いました。産業界においても医薬、農薬、材料、電子材料、繊維など多くの分野で有機合成化学の技術を用いた日本発の製品が世界で活躍しています。

どんなに政治・経済が混迷しようとも天然資源の少ない我国にとって、「科学技術立国」の国是は、将来にわたり不動のものであります。有機合成化学は基礎科学として、新しい物質を生み出す技術として、また他分野の基盤技術としてさらにその重要性が増しています。本会は学部の壁を超え、また学界、産業界の枠を超えて研究者や技術者が集う学術団体です。創立 70 周年の年頭にあたり、本会の活動がますます盛んとなり、日本の科学技術の発展に大きく貢献することを祈念致します。特に多くの若い研究者、学生諸君が本会に加わり、そのすそ野を広げ発展に寄与してくれることを願っております。

末尾となりましたが、本年の皆様のご多幸とさらなるご活躍を心よりお祈りいたします。

事務局から会員募集のお願い(普通会員(法人・個人)、学生会員)

本会では本年も会員増強運動を展開しております。お知り合いの企業・友人、学生に是非ご入会をお勧め下さいますようお願いいたします。特に大学では、大学院に進学される学生さん達にお勧め願います。

入会申し込みは本会ホームページ(<http://www.ssocj.jp/>)からできます。